

# 『あの花が咲く丘で君とまた出会えたら』

汐見 夏衛

371

この本は私が本を好きになったきっかけの本です。もともと本があまり好きではなかったのですが、友達にオススメられて読みました。本当に感動して涙が出てここまで深くじっくり読んだ本は初めてです。ネタバレはしたくないので詳しくは言えないのですが、時代背景が第二次世界大戦なので、考えさせられる本もありました。

ガチガチの恋愛話でもあるのでぜひ読んでみてください！

NAKAMURA (八千代)



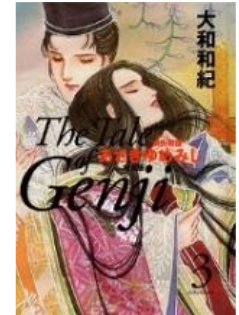
# 『あさきゆめみし』

大和 和紀

174

平安時代、桐壺帝の第二皇子で絶世の美男子である光源氏が、理想の女性を求め様々な女性と関わりを持ちながら、栄華を極めていく。序盤から中盤にかけては、主に光源氏の恋愛遍歴が描かれるが、中盤以降は光源氏の人生に対する苦悩、光源氏の妻達の、女性としての生き方に対する苦悩が描かれる物語です。楽しく歴史を学ぶことができます。

NAKAYAMA (八千代)



# 『あやうく一生懸命生きるころだった』

ハ・ワン

474

中学生から高校生になり、憧れの高校生活に向けて意気揚々と頑張っている新一年生。期待に胸を膨らませる人もいれば、慣れない環境や人間関係に疲れている人もいます。想像していた高校生活ではなく上手くいかないで悩んでいますか。自分をすり減らす毎日から少し立ち止まり、次の一歩を自然と踏み出せる、背中を押さずに支えてくれる本です。”自分らしい生き方”で楽しい高校生活を送って下さい。

MITTUDA (八千代)



# 『あの花が咲く丘で君とまた出会えたら』

汐見 夏衛

271

女子中学生の百合は、学校や親、周囲に苛立ちを隠せずにいる。ある日母と口論になり、家を飛び出し目を覚ますと、そこは戦時中の日本だった。百合は彰をはじめ多くの人に出会い、成長していく。その中で、誠実で優しい彰に心惹かれていく。しかし彼は特攻隊員で、命をかけて飛びたなくてはならなかった。

涙なくしては読めない、圧巻のラスト。ぜひ読んでみてください！

YAMAGUCHI (八千代)



## 『アリアドネの声』

井上 真偽

「巨大地震で地下に取り残された女性を助けてくださいー!」

過去に救えたはずの兄を亡くしたハルオは、その贖罪として救助災害ドローンのベンチャー企業に就職する。そこで彼は携わった、障害者支援都市「WANOKUNI」というプロジェクトで巨大地震に遭遇する。地震の影響で地下に取り残された女性は、「見えない」「聞こえない」「話せない」「建物の崩落により救助隊の侵入は不可能、浸水も進んでいる。残された時間は六時間」。

その運命は、ある一台のドローンとハルオに託されるー。

KITAGAWA (八千代)



## 『一瞬の風になれ』

佐藤 多佳子

この本の話の主人公は、サッカー一家で育ちながらも、高校入学を機に陸上部に転校した一人の男子高校生です。彼は、抜群の才能を持つ親友や、走ることにひたすら熱い友人たちと共に部活動に励んでいきます。

私はこの本を読んでいて、主人公の日々努力している姿がとても清々しく感じました。

KANNA (八千代)



## 『育休刑事』

似鳥 鶏

NHKのドラマを偶然見て、面白かったので原作を読みました。

育休中の刑事が事件に巻き込まれ、育児をしながら捜査をするという設定が楽しく、肩ひじ張らずに読める本です。育児の大変さに苦労しながらも、その育児の中で事件解決のヒントをつかむというのが基本設定です。

現実世界では捜査一課の男の刑事が育児を取ることはできないかもしれませんが、今後はわかりませんよね。ある意味時代を先取りした小説と言えるかもしれません。

N (八千代西)



## 『祈りの幕が降りる時』

東野 圭吾

殺人事件が絡むミステリー小説である。しかし、物語の最大のテーマは、「親子の深い愛情」であり、それが巧みに、そして感動的に組み込まれていて、どんどん引き込まれる。また、事件の真相に迫るにつれ、複雑に絡み合った人間関係が徐々に解かれていくが、余計に辛く悲しい気持ちになる。

「殺人」というのは、重い犯罪であるが、複雑な感情が湧いてきて、心を揺さぶられる作品である。

E (八千代西)



## 『お探し物は図書室まで』

青山 美智子

11 冊

この本は仕事や人生における様々な葛藤に直面した五人の主人公の物語です。その五人は、偶然訪れた町の小さな図書室で、司書小町さんに自分には関係ないと思われる本を薦められます。彼らは自分なりにその本からヒントを見つけ、前向きに歩き始めます。思い通りにいかないことがあっても、心が動くもの、目の前にあることを一生懸命に取り組んでいけば自分も状況も変わっていく。一步一步。そう再認識させてくれる一冊です。



O (八千代西)

## 『隠蔽捜査』

今野 敏

9 冊

タイトルから想像することは「警察の暗部」ということではないか。しかし、描かれているのは、警察庁のエリートキャリア官僚である主人公が、難事件を管理職の視点で解決して行く物語である。シリーズ化され、最新刊は十巻まで発行されている。一巻目の最後に、主人公がエリートコースから外れることになるのだが、そのきっかけとなった出来事に対し、葛藤に悩みながらも真正面から向き合う姿勢に共感を持った。なぜこのタイトルなのかは……。

TOMARU (八千代)



## 『お探し物は図書室まで』

青山 美智子

12 冊

小学校に併設されている「図書室」。探し物を抱え訪れた人々は、体の奥に響く温かい声で司書に問いかけられます。「何をお探し?」本を探していたはずなのに、心に思い浮かぶ探し物は全く違うもので。悩みを抱えた彼らを、一冊の本と小さなお手製の付録が手伝います。不器用ながらも探し物を見つけていく姿は貴方をぎゅっと暖かく包み込んで、前へ明日へと進む勇気を与えてくれます。何かを探し続けている貴方に。

M.S.D (八千代東)



## 『隠蔽捜査』

今野 敏

10 冊

主人公は竜崎伸也というキャリア官僚。警察庁長官官房総務課長として辣腕を奮っていたが、家族の不祥事により異動。しかし腐ることなく、仕事における原理原則を貫き、合理的な仕事を追求する。今でいう忖度等が一切ない仕事ぶりは、爽快である。本人が何故キャリア官僚になったか?それは偉くなりたいたいからでなく、仕事におけるあらゆる権利を行使することにより、国家公務員としての仕事が追求できるから。ねじ曲がったエリート意識はなく、特権と共に多くの義務も付きまとうと本気で考えている。警察は階級社会であるから、上司の命令には絶対服従。竜崎の階級を知らず、単に所轄の所長であろうと接してきた者が、あえなく論破され、返り討ちに合う様は、読んでいて痛快であり、かつての水戸黄門のようである。そんな毅然とした主人公であっても、実のところ「俺はいつも揺れ動いている。ただ迷った時に原則を大切にしよう」と努力しているだけだ」という台詞は、仕事に向かう姿勢として大変参考になるものである。

K (八千代西)



## 『想いをカタチにするポジティブ思考』

富樫 勇樹

15 冊

KADOKAWA BリーグでMVP、アシスト王など数々のタイトルを獲得した日本NO.1のポイントガード富樫勇樹が明かす成長し続けるための思考法。「大切なのは自分のスタイル。人の真似をいくらしても、それは決して自分ではない。」

強い信念で常に未来を切り開いてきたトップアスリートの思考に迫り新たな自分を発見することができる一冊です。



UMEDA (八千代)

## 『幼き者の殺人』

(イヴ&ロークシリーズ)

J・D・ロブ

13 冊

筆者は別名ノーラ・ロバーソの方が有名だと思っています。

物語は近未来のニューヨークの警察官とその夫の元泥棒の大富豪を中心に展開されます。警察官イヴはDVの被害者でもあり、自分の生い立ちや考えを被害者に重ね、夢の中で問答とすることで視点を組み合わせて事件を解決します。

起きる事件は悲惨で考えさせられる事も多くありますが、スケールの大きな夫ロークの話には我々の理想の生活がかかれています。ぜひシリーズで読んでください。

T・A (八千代東)



## 『カエルの楽園』

百田 尚樹

16 冊

蛙化現象という語が流行した年であった為、蛙の文字が入っているこちらの本をお薦めします。国を追われた二匹のアマガエルが辿り着いたのは「三戒」(カエルを信じる、カエルと争うな、争うための力を持つな)と呼ばれる戒律と「謝りソング」という奇妙な歌で守られています。産経新聞では、同書は平和ボケした日本の将来を暗示していると評価した作品です。政治や法律に興味がない私でも、お気に入りのバーで背筋が栗立ちました。



TOMIITA (八千代)

## 『お隣の天使様に』

いつの間にか駄目人間にされていた件』

佐伯さん

14 冊

自堕落を極めた男「藤宮 周」は、雨でずぶ濡れになった、品行方正成績優秀学校一美少女の天使様「椎名 真昼」を助けたことがきっかけで仲良くなり、家を行き来するように。面倒みが良い性格で家事も完璧にこなすもんだから、周は駄目人間にならないように頑張っている!

胸焼けするほど甘い小説が読みた一人にオススメの作品。

YAMAMOTO (八千代)



## 『覚悟の決め方』

上原 浩治

19カ

軸がぶれずに雑草のように強く生きていくのが伝わる。いい加減なやけくそではなく、最大限の努力準備をしたうえで、自分を信じて覚悟を決める。また様々なアドバイスや指示を受けても最終的な責任は自分が持つ。他責にはしない。この点に共感を覚えた。野球中心の生活を行う為にルーティンをもたずら守り雑念を追ひ払うストイックな意思の固さ。本書では反骨心にも触れられていた。ジャイアンツに入団した理由と経緯やマスコミに対する当時の疑念も吐露されており、より上原さんの考えが理解できた。



M (八千代西)

## 『かがみの孤城』

辻村 深月

17カ

居場所のない7人が出会ったのは鏡の中に繋がったとある一つの小さなお城。お城の中での物語は信頼関係や「仲間」の大切さが分かる物語です。最後まで読み進めると点と点が繋がっていき読み終わる頃には涙している、一人の少女と七人の子供たちの感動ファンタジー物語です。

NISHIO (八千代)



## 『か「」く「」し「」ご「」と』

住野 よる

20カ

「きつとだれもが持っている自分だけのかくしごと」  
人の気持ちが見えるという能力を持つ五人の男女を描いた青春小説。気持ちや心が見えるからこそ生まれる悩みを抱えながらも、日々を過ごしていく五人。人との関わりや物事を通してそれぞれ変化していく。  
青臭くも甘酸っぱい青春だけでなく、揺れ動く少年少女の姿に考えさせられる一冊。



G・Y (八千代東)

## 『かがみの孤城』

辻村 深月

18カ

現実から逃げ出したい。そう思ったことはありますが。これは同じ中学校に通う不登校の7人の物語です。  
主人公のころはある日、かがみの中に入ってしまった。最初は戸惑いますが、自分と似ている境遇の人達という空間に心地が良くなっていきます。全員同じ中学校の生徒だと知った彼らは、学校に行ってみることにしました。しかし……。  
張り巡らされた伏線に鳥肌が止まらなくなるような一作です。

M・I (八千代東)



## 『風の歌を聴け』

村上 春樹

村上春樹のデビュー作だ。高校二年の夏に読み、彼と同じ早稲田大学に入りたいたいと思って受験勉強をした。私より一まわり年上の彼は、私の生きる指針のような大好きな作家なのだ。この作品は、彼が大学生の時、海辺の街に帰省した一夏の体験を描いたものだ。これから八千代高校生として三年間を過ごし、大学生になっていく君達が、少し背伸びして読んでくれたらと思う。そして、早稲田大学にある「村上春樹ライブラリー」に足を伸ばしてほしい。

NAKAGAWA (八千代)



## 『ガラスの城壁』

神永 学

主人公悠馬は、中学生の少年。学校ではイジメに遭っていた。そのきっかけになった事件は、悠馬の父親が逮捕された事。それは冤罪だったという事が後に分かり父親は釈放された。しかしその事が原因で色々な事が変わってしまった。悠馬の中では事件は終わっていない。

父親は事故か自殺かはっきりしない形で死んでしまい、学校での悠馬へのイジメも続いていた。まだ犯人の捕まっていない事件を解決するために悠馬は戦っていく。



KOSAKA (八千代)

## 『神との対話』

Neale Donald Walsch (ニール・ドナルド・ウォルシュ)

ある日友人が動画の視聴を薦めてきました。  
[https://www.youtube.com/watch?v=i\\_sCWefBkc](https://www.youtube.com/watch?v=i_sCWefBkc)  
 動画の中で主人公は神との対話を書き溜めて出版し、ベストセラーになります。  
 主人公は、神とどんな対話をしたのか…。  
 私は気になって、その本が売っていたら読んでみたいと思いました。  
 みつけたのがこの本です。

SATO (八千代)



## 『ガリバー旅行記』

スウィフト

ガリバーは主に四つの不思議な国々を冒険してきました。よく知られているのは第一章の小人の国と、第二章の巨人の国ですが、その他にも、第三章では空島「ラピュタ」や、幽霊の国に行き、第四章では人間ではなく、馬が支配している国を冒険します。

ハラハラドキドキする冒険だけでなく、どこか、私たちに考えさせられる哲学的な部分もあり、読み応えのある一冊となっています！

YABE (八千代)



# 『キノの旅 the Beautiful World』

時雨沢 恵一

27キ

一つ一つの「国」が城壁に囲まれている世界。その世界には様々な国がある。多数決の国、人の痛みがわかる国、人を殺すことができる国、安全な国、優しい国……。一つの国には三日間という独自のルールを持つ人間キノが人の言葉を話すモトラドのエルメスと共に世界を旅する物語。

「世界は美しくなんかいい。そしてそれ故に、美しい」矛盾だらけのこの世界を描く新感覚ライトノベル。短編連作なので、時間がなにも読みやすいです。ぜひ読んでみてください。



A B E (八千代)

# 『関東大震災百年 文豪たちの「九月一日」』

石井 正己

25カ

百年前の関東大震災の時の人々の様子が、とても身近に感じられる本です。芥川龍之介や与謝野晶子といった人々が、自分たちが目にした焼け野原となった東京の光景を綴っています。日常の中で震災が起き、そのあとも生活が続いていく様子が、これから経験する首都直下地震を想像する足掛かりになると思います。関東大震災について詳しく知りたい人は、吉村昭『関東大震災』(文春文庫)がおすすめです。



Y (八千代西)

# 『君たちはどう生きるか』

吉野 源三郎

28キ

舞台は一九三七年の東京。主人公は、十四歳のコペル君(本名:本田純一君)。三年前に父親を亡くし、親戚の叔父さんと母親と一緒に暮らすように。コペル君というあだ名は、コペル君が「人間は世の中を作っている分子だ」ということに気付き、叔父さんに言うところから出てきました。コペル君が学校で身近に起きるいじめや貧困などに苦しみ悩んでいると、叔父さんがノートに綴るアドバイスでコペル君を励ましていきます。その叔父さんのノートがコペル君の生きる道しるべとなり、社会問題を自ら考え答えを見つけてようとする物語です。今までの人生を見つめなおすきっかけにもなり、普段の生活でも起こるいじめや差別などについても考えさせられる作品です。



T E R A D A (八千代)

# 『キッチン』

吉本 ばなな

26キ

家族という、確かにあったものが年月の中でひとりひとり減っていく、自分がひとりここにいるのだと、ふと思いつくと目の前にあるものがすべて、嘘に見えてくる。 (本文、裏表紙より)

唯一の肉親の祖母を亡くしたみかげが、祖母と仲の良かった一つ年下の青年、田辺雄一の家で居候する。祖母を亡くした悲しみが、田辺家の温かさに心癒される、永遠のベストセラー。



T A K A K U R A (八千代)

## 『教室が、ひとりになるまで』

浅倉 秋成

31 冊

『六人の嘘つきな大学生』が面白かった  
ので同じ著者の作品を手にとった。ファン  
タジー要素も含んだ青春ミステリー。学校  
で起きた生徒の連続自殺。「全員が仲のい  
い最高のクラス」で、なぜ。「自殺なんか  
じゃない。みんなあいつに殺されたの」。他  
人を自殺させる力“を使った証明不可  
能な罪。犯人を裁く一度きりのチャンスを得  
た主人公は、異質で孤独な謎解きに身を  
投じる。前作と同じように伏線回収に定  
評があり、無数に張り巡らされた伏線が  
終盤に一気に回収される爽快感はあった。  
みんな狭い世界の中で色々感じながら生  
きている。それは学校だって社会だって同  
じ。人との関わりに悩んでいる人に読んで  
もらいたい一冊。

K (八千代西)



## 『君の臍臓を食べたい』

住野 よる

29 冊

主人公である「僕」が病院で偶然拾った  
「共病文庫」という本。それは僕のクラスメイ  
トである山内桜良さんが書いていた秘密の  
日記帳であり彼女の余命が臍臓の病気によ  
りもう長くはない事が記されていた。「僕」は  
興味本位でその本を開いたことにより桜良  
の身内以外で唯一病気のことを知ること  
になる。そのまま僕は桜良の「死ぬまでにやり  
たいこと」につき合うことになる。お互いに自  
分の欠けている部分に憧れを持ち、やがて心  
を通わせながら成長していく物語。

HIGUTHI (八千代)



## 『嫌われる勇気』

岸見 一郎

32 冊

思春期真っ只中のキミたちにおすす  
めです。「哲人」と「青年」の会話形式で書かれてい  
て、とても読みやすいです。好かれようと思  
うと、他人の期待に応えようと振る舞う。その  
結果、本当の自分を出せなかったり、我慢ば  
かりが続いたりして、ストレスをためてしま  
いがち。そこで必要になるのが、嫌われる勇気。  
友達や親などの人間関係に悩む人はぜひ読  
んでください。

U (八千代西)



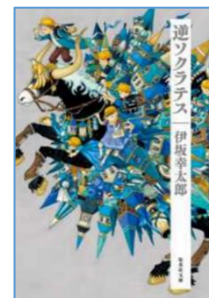
## 『逆ソクラテス』

伊坂 幸太郎

30 冊

伊坂幸太郎さんによる小学生が主人公の  
短編集。主人公は学校の先生や大人たちの  
理不尽に疑問を抱き、立ち向かうことを決  
意する。小学生があーでもない、こーでもな  
いと話し合いながら、逆転の作戦を決行して  
いく過程は読んでいて面白く、最後は彼らの  
思いやりや小さな勇気にぐっとくる、そんな  
作品です。表紙絵は画家の Junaida (ジュ  
ナイダ) さん。絵本もたくさん描かれている  
方なので、そちらも気になったら是非。

N (八千代西)





## 『銀河鉄道の夜』

宮沢 賢治

「おとうさんはこの次はおまえにラッコの上着をもつてくるといったねえ。」これは主人公ジヨバンニのお母さんの台詞です。野生のラッコは北海道沖の冷たい海に生息していて、起きている時間のほとんどを毛並みの手入れにあてているそうです。自分が生きるために必要な毛皮が、やがて人の体を温めるものになる。本書では「いちばんの幸福」とは何か、くり返し問われますが、愛くるしいラッコの姿にも命ほど尊いものはないと思えるのです。

K (八千代西)



## 『薬屋のひとりごと』

日向 夏

人攫いによって後宮に売られてしまった猫。ある時、皇子の衰弱事件の謎を解いたことから宦官である壬氏の目に留まり、事件の解決を手伝わされることに。やがて発生した寵姫の失踪事件は、猫猫を巻き込み国家転覆計画に広がっていく。そして、明らかになる壬氏の正体。二人の関係は微妙に変化していき……。

様々な要素が詰まったこの本でしか味わえない世界観をぜひ読んで楽しんでください！

KOBAYASHI (八千代)



## 『空想科学読本』

柳田 理科雄

この本はアニメや漫画の世界の出来事を現実的、科学的に考えるところがあるかがまとめられています。例えば、「深海一万メートルの水圧に耐えられるドラえもん。いったい、どれほど頑丈なのか？」などの、とてもユニークな話題が多いです。この本は科学が好きな人、興味がある人はもちろんあまり化学が好きではない人でも面白く読める本です。

HIRAKAWA (八千代)



## 『くもをさがす』

西 加奈子

これまで何冊か小説を読んだことがある西加奈子さん初のノンフィクションを手にとった。ずしりと読み応えのある長編小説とは違って軽やかな語り口だが、その経験と選択は実に重い。自分とは何か、ユーモアのあるやりとりの中、読み進めながら考え続ける時間は、心の中が充実して満たされていく感覚があり、読了後に確かな達成感があった。

この本の中の言葉に出会えたことに感謝したい。

HOSHINO (八千代)

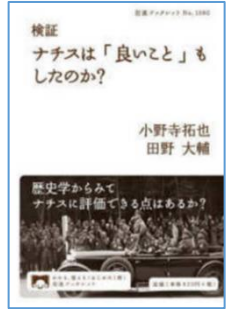


## 『検証 ナチスは「良いこと」もしたのか?』

小野寺 拓也

数年前のある日のこと。世界史の授業が終わった後、一人の男子生徒が教卓に近づき、「先生、ヒトラーって良いこともしていますよね」と言った。授業で扱っていた時代ではなかったのて唐突な発言だった。「空襲で家をなくしたドイツ人家庭に無料で家や家具を提供したんですよ」と続けた彼の言葉に、「そうだね。でもそれは、強制収容所に連行されたユダヤ人の所有物を提供したんだよ」と私が言うと、「ああ、そういうことなんですか」とがっかりしたような返事をした。この本のタイトルを見て、その時のことを思い出した。「歴史修正主義」という言葉がある。学問としての歴史学が、幾多の検証や批判を乗り越えて確立した歴史的事実の意味を、「歴史のつまみ食い」によって「修正しようとする試み、あるいは企みのことを指す。歴史的事実は、時代背景の中で、目的や理由、方法や影響などを「ひとまとめで」にしたものを「認識されるべきである。しかし歴史修正主義者は、そうした全体としての歴史の流れを無視し、自分たちの主張にとって都合の良い部分だけを「つまみ食い」して、歴史を歪めようとしている。私に声をかけた男子生徒は、こうした歴史修正主義者の言説に惑わされているのだろう。彼のような人だけでなく、多くの人に読んでもらいたい本である。

I (八千代西)



## 『こころ』

夏目 漱石

大学生の「私」は夏休みにおどろけた鎌倉である人物に出会います。そして、その人を「先生」と呼び尊敬を覚えるようになりま。人との交流を絶つようにしてひっそりと暮らす先生と妻。「自分は寂しい人間」「恋は罪悪」とつぶやく先生は一体どんな苦悩を抱えていたのでしょうか。



YAMAMOTO (八千代)

## 『幸福論』

アラン

名馬ブケファルスは、なぜ暴れるのか？アレキサンダー大王は、馬が自分の地面に映る陰に怯えていることに気づき、馬の鼻を太陽に向け、落ち着かせたのである。アランは言う、問題がある時は、ピン(原因)を探せと。

A (八千代西)



## 『子ども版 声に出して読みたい日本語』

齋藤 孝

本を読むのは得意ですか？苦手意識がある人は、子供向けの本、おすすめです。息子が2歳半なのでよく一緒に読むのですが、字が大きくてイラストは可愛く、意外にも大人が「へえ」と頷く内容がたくさんあります。例えばこの本は実際に音読してみると、難しいことはわからなくても、単純に日本語の美しさに気が付きま。そして有名な文章にまとも触れられるので、お徳感があります。本当は0歳から読める「はじめての一分音読」を紹介したかったのですが、さすがに幼すぎたので…興味があればそちらも見てください。

H (八千代西)



## 『サピエンス全史』

ユヴァル・ノア・ハラリ

43才°

この本は、人類の変遷を多角的な視点で考察した名著です。数十万年にわたる人類の進化と発展を探索し、その過程で言語の出現、農業革命、宗教の役割、帝国主義の台頭、そして現代のテクノロジー革命など、重要な出来事を緻密に分析しています。私たちの歴史に対する新たな視点を提供してくれるでしょう。

ただし、この本はファクト(事実)よりもフィクション(物語性)を重視した書き方をしています。あくまでも著者の考える一つの説、ということは頭において読んでください。



K (八千代西)

## 『これは経費で落ちません!』

青木 祐子

41才

主人公の森若沙名子は経理部勤務の27歳OL。社内の各部署より持ち込まれる領収書処理する彼女は、そこから社内の意外な人間模様を垣間見ます。彼女の好きな言葉は「イーブン」、座右の銘は「ウサギを追うな」。時には予想外のトラブルに巻き込まれることもありながら、さまざまな問題を淡々と解決していく姿を恋模様も交えつつ描いた作品です。



U (八千代西)

## 『三国志』

吉川 英治

44才

三国志と聞くと難しいものだと思う人も多いのではないのでしょうか。確かに、本の内容や出てくる人物の多さ、字の小ささなど、普段から本を読んでいる人にとっても難しいかもしれないです。だけど、物語の中で重要になってくるものは漢の友情です。物語の最初に劉備、関羽、張飛の三人が桃園の誓いを交わすのですが、このときのかつこよきは忘れられないものがあります。ぜひ読んでみてください。



KOIZUMI (八千代)

## 『桜のような僕の恋人』

宇山 圭佑

42才

美容師の美咲に恋をした晴人。彼女に認めてもらいたい一心で、一度は諦めたカメランの夢を再び目指すことに。そんな晴人に美咲も惹かれ、やがて二人は恋人同士になる。しかし、幸せな時間は長くは続かなかった…。

美咲は人の何十倍もの早さで年老いる難病を発病してしまう。老婆になっていく姿を晴人にだけは見せたくないと悩む美咲は。

桜のように儂く美しい恋の物語。



TAKAMA (八千代)

## 『幸せになる勇気』

岸見 一郎 古賀 史健

あなたは幸せですか？

幸せになりたいなら面倒なこと辛いこともある。責任も伴う。それでもこの人として幸せになろうと決意する。世界はシンプルで人生もまた同じである。何でもない毎日が試練。時間は有限。すべての出会いで最良の別れが最終的にできるような普段の努力を日々行う。今ここを真剣に生きる。愛でしか幸せになれない。  
みんなで幸せになろう。この本を読んで。



SEINO(八千代)

## 『屍人荘の殺人』

今村 昌弘

大学でミステリー愛好会に所属している葉村譲と明智恭介は、美人探偵の剣崎比留子の誘いで、映画研究会の合宿に参加するためにペンション紫湛荘にやってきた。一行はその夜肝試しに出かける。ところがそこで緊急事態が発生し、メンバーは紫湛荘から出られなくなってしまった。不安の一夜を明かすが、部員の一人が変わり果てた姿で発見される。

ミステリー大賞も受賞したことのある、連続密室殺人の作品です。



SHINO(八千代)

## 『JK、インドで常識ぶっ壊される』

熊谷 はるか

平穏な学生生活の途中で「3ヶ月後、仕事の都合でインドに引越すから」と保護者に言われたらどうしますか？作者は中3から高3の6月までをインドで過ごし、パンデミックの中、帰国します。帰国後、「心を動かされたことも、高校生のうちに書いておかないと、出会ったことも感じたこともなかったことになってしまふ」と出版甲子園に応募、高校生として初の受賞者となりました。

作者の瑞々しい文章や熱い想いに胸打たれる、ノンフィクション(実体験)です。



K(八千代西)

## 『シャーロック・ホームズの冒険』

アーサー・コナン・ドイル

アルセーヌ・ルパンと人気を二分し、全世界に熱狂的なファン(日本では「シャーロキアン」と呼ばれる)が途轍もなくいる名探偵の代名詞。この世界規模の名声の持ち主の物語を一度は読んでほしい。国語科の教員としては、丁寧に活字を追いかけ、作品世界と登場人物を脳内でしっかりとイメージし、ワトソン君の立ち位置で犯人に挑んでもらいたい。正統な謎解きと物語としての面白みが味わえるもっともポピュラーな作品です。

(ホームズが自分より優秀だと評価した人を知ってる?)



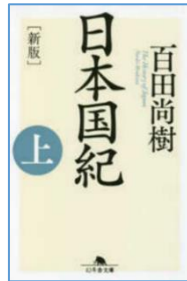
T(八千代西)

## 『新版 日本国紀』

百田 尚樹

51シ

もともと歴史は嫌いな科目で興味もほとんどなかった。百田氏の文章はとても読みやすい。(ご本人も読みやすさは意識しているそうだ)歴史に興味のない人も騙されたと思って読んでみてほしい。百田氏に対してアレルギーのある人もだ。これもひとつ調べてみたいとか考えてみたいという気持ちになる。日本は良いこともあったし悪いこともあったが、いろいろな苦難を乗り越えていまがあることが実感できる。今を大切にしたいと思えるのだ。



H (八千代西)

## 『十二歳』

榎月 美智子

49ジ1

この本は私が丁度十二歳の時に買った本です。高校一年生の今の物事に對しての考え方と小学六年生の考え方は全く違います。小学六年生らしい感情豊かで、世の中を今ほどには知らない純粋な少女の日常が書かれた一冊です。

この本を読むと小学六年生の頃の自分を思い出すことができます。懐かしさと共に落ち着くことができます。思うのでおすすめています。

I INUMA (八千代)



52シ1

## 『スイミー』

レオ・レオニ

スイミーは言った。「ぼくが目になろう」小学校の教科書にもよく登場するスイミーのお話です。ほかの仲間たちと違う色で生まれてしまったスイミーが悲しみや困難を乗り越えて仲間たちとともに広い海の世界に飛び込んできます。大人になった今読み返すと、そんなスイミーの困難に立ち向かう姿勢や勇気はそう簡単なものではないと感じさせられます。

挿絵もとても素敵なのでぜひ懐かしさを感じながら読んでみてください。



M (八千代西)

## 『柔道にはなぜ黒帯があるの?』

稲垣 正浩

50ジ1

武道の歴史は長く、武士が行なった体術から始まり、それが現代まで武道として受け継がれています。柔道に限らず、他の「道」の世界には、日常生活に役立つ多くの習慣が含まれています。経験が長くなるほど、自分の心と体にその習慣が染み渡り、人格が完成されていく、というのが修行の目的です。

皆さんも、「道」をやってみませんか？

K (八千代西)



## 『世界一やさしい「やりたいこと」のを見つけ方』

55セカ

八木 仁平

私は、教員採用試験に合格できない時期があり、自分に足りないものが「自己理解」でした。

教師としてやりたいことは何かを考え、この本と出会いました。

この本の魅力は、自分が生きる上で大事にしていること（価値観）や、「好きなこと」「得意なこと」を体系的に探し出せるところです。

自分のことを理解するのに時間はかかりますが、やりたいことがわかってくると毎日が楽しくなるものです。

進路を考える人に、オススメです。



T・S (八千代東)

## 『すずめの戸締まり』

53双

新海 誠

新海誠監督が、美しい色彩と音楽で描き出す少女の冒険物語。平穏に暮らしていた少女がある青年との出会いがきっかけで災いを呼び込む扉の存在を知り、戸締まりの旅に出る。その矢先、日本中で扉が出現し始め、その扉が開くことでさまざまな災いが次々と起こっていく。

そこで少女は各地の扉を閉める旅へ出発する。



TAKAHASHI (八千代)

## 『それから』

56ル

夏目 漱石

三十歳になっても職に就かず、実業家である親の仕送りで暮らしている代助。ある日、生活に困窮したかつての友人平岡と、その妻、三千代に再会する。三年間、三千代を愛していながらも平岡に譲った代助。再び交流を重ねるうちに、次第に三千代に恋心を募らせ、ついにはその愛を貫き通そうと決心するのである……。

社会の掟に背き「自然」の情念たる愛を追究する人間の苦悩を描く一冊。

SHIRAIISHI (八千代)



## 『スプーンと元素周期表』

54双

サム・キーン

元素の周期表は知っていますか？ 20番までは頑張って覚えたと思います。番号が一つ上がると陽子と電子が一個増えることや、周期表を見ると縦に似た元素が並ぶこと等、今では教科書に載っている通りにサクッと説明ができます。この本は、その元素たちがどうやって発見されたのか、なぜ今の周期表の並びになったのかが解説されています。少しページが多いのと文字だらけな所は気になりますが、前半部分だけでもぜひ読んでみて下さい。

I (八千代西)



## 『月の満ち欠け』

佐藤 正午

59ツ

正木夫婦には愛がなかった。それに疲れてしまった正木瑠璃は、レコードショップで三角と出会う。二人は許されざる恋に落ちてしまい、三角の家に行く途中で瑠璃は不慮の事故で死んでしまう。それから数年後、三組の夫婦の子供が正木瑠璃と同じ不可解な行動を取るようになった。正木瑠璃、小山内瑠璃、めぐみ、緑坂るり、この四人は、どのような関係なのか。一人の女性と、三人の男性による、数十年に及ぶ愛の軌跡。



SEKIGUCHI (八千代)

## 『退出ゲーム』

初野 晴

57ダツ

廃部寸前の弱小吹奏楽部のフルート奏者、穂村チカ。チカの幼なじみのホルン奏者上条ハルタが音楽教師・草壁先生の指導のもと、吹奏楽の「甲子園」普門館を夢見る。そんな二人に、難題がふりかかる。化学部から盗まれた劇薬の行方、六面全部が白いルービックキューブの謎、演劇部との即興劇対決。

二人の推理が冴える青春ミステリー、ハルチカシリーズの一冊です。

KUWABARA (八千代)



## 『手紙屋 僕の就職活動を変えた十通の手紙』

喜多川 泰

60ツガ

就職活動中の大学生が書齋カフェ書案にて奇妙な広告に出会います。その名も「手紙屋」。手紙屋とたった十通の手紙のやり取りをするだけであらゆる夢を叶えてくれると言います。平凡な大学生の主人公が「手紙屋」との十通のやり取りを通じて大きく成長し、人生の大海原に漕ぎ出していく物語です。小説でもあり、自己啓発本でもあるこの本は自分の人生を考え始める時期に読んでもらいたい作品です。手紙屋の正体にも注目です。



T (八千代西)

## 『沈黙』

遠藤 周作

58フ

16世紀に、日本にポルトガル人と、キリスト教と、鉄砲が来て、17世紀にキリスト教が禁止になって、棄教と弾圧の時代なのです。映画にもなりました。キリシタンがたくさん殺されて、宣教師も悲しい話です。当時、重い税に苦しんだ人たちが多く、宗教を捨てると上から言われて、弾圧されて、拷問を受けて、イエスの顔を踏む話です。沈黙していたのは神様で、江戸幕府は、めちゃくちゃひどい。異教徒に対する扱いだからひどかったのだろ。うな、と今は思う。あんなに寛容から離れたのだ。島原の乱では、たくさん死んだ。キリシタンたちは生きるためにたくさん転んだ。読んでいて、暗い部分が多いけれど、読んで欲しい本なのでお勧めする。映画を観るのもいいと思う。リアム・ニーソンがかっこいいです。

H (八千代西)



## 『寅さんとハマちゃんに学ぶ助け方・助けられ方の心理学』

石隈 利紀

63トヲ

この本は映画「男はつらいよ」の寅さんと「釣りバカ日誌」のハマちゃんから学ぶ、やわらかく生きるための6つのレッスンをわかりやすく紹介しています。自分の弱さと強さに気づき、人とつながり、互いに助け合って生きるためのヒントが見つけられると思います。大人だけでなく、生徒のみなさんにも読みやすい本です。是非読んでみてください。



Y (八千代西)

## 『時計坂の家』

高楼 方子

61トヅ

何歳でも、年齢なりの読書感が得られる作品です。日常の隣にある非日常を強く意識できます。何らかの選択を迫られたとき、それを選べば安穩な日々を失うとわかっていても、選ばずにはいられない、焦燥と渴望が作品全体の底に流れています。自分は一体どう生きたいのかということ深く考えさせられます。

進路等も含め、皆さんが人生の岐路に立ったときに、ぜひ読んでください。



H (八千代西)

## 『とんび』

重松 清

64トヅ

この作品はドラマや映画化されています。私はTBSで放送していたドラマが大好きでした。ドラマが放映されていた時、私には子どもがいまいませんでしたが、今は小学生の息子がいます。本を読み進めていると子どもが生まれる前と後では作品に対する視線が変化していることに気がつきました。特に和尚が主人公のヤスさんに言った「おまえは海になれ」という言葉は、父となった私にも突き刺さりました。この言葉の意味することは何か、と気になりました。是非読んでみてください。



I (八千代西)

## 『友だち幻想』

菅野 仁

62トヅ

社会の中で生きていくうえで、誰もが皆、人間関係に悩んだ経験があると思います。本書では、複雑な人間関係の中で必要以上に傷つかず、しなやかに生きられるようになる方法が書かれています。

「中高生にいま一番読んでほしい本」第一位にも選ばれました。ぜひ、読んでほしい一冊です。読むと心が軽くなりますよ。



M (八千代西)



## 『なんのために学ぶのか』

池上 彰

67㊦

「どうして勉強しないといけないのか」という問いかけに真正面から答えた一冊です。

学びで得る喜びや本質、失敗や挫折から学ぶということ、本との出会いの大切さなど多岐に渡る内容から、学びとはつまるところ「人を知る・自分を知る・生きる力を身につける」ものであると気付かされます。

W (八千代西)



## 『夏の終わりに君が死ねば完璧だったから』

斜線堂 有紀

65㊦

最愛の彼女の死に価値がつけられてしまった人は、その価値とどう向き合うのか。彼女の死に紐づく大金が二人の運命を狂わせる。壁に描かれた52 Hzの鯨、チェッカーに込めた祈り、互いに抱えていた秘密が解かれるそのとき、二人が選ぶ「正解」とは？ 壮絶で切ない最後の夏の始まりのお話。

OKUYAMA (八千代)



## 『日本語が消滅する』

山口 仲美

68㊦

## 『汝、星のごとく』

凧良 ゆう

66㊦

「日本も公用語が英語だったらよかったのに。」というセリフを聞いたことがある。同感、という人が多いのだろうか。

外国語を学んだり、外国へ行ってその文化に触れたりすればするほど、日本や日本語の「特別感」というか、「希少感」(本文中の言葉を借りれば「独自性」を持っていること)に気付かされる。英語力の必要性を感じている人こそ、日本語をしっかりと身に着け、守っていくことの大切さに気付いてほしい。

「英語が公用語だったら…」と一度でも思ったことがある人に、ぜひこの本を読んでもらいたい。身近すぎて気付かなかった日本語の魅力に触れられるはずだ。

SINTANI (八千代)



表紙の綺麗さに引き込まれる一冊。この本は複雑な愛をテーマに描かれています。家庭環境により歪んだ愛を抱く彼。一途に一人を愛し抜く彼女。それぞれの状況は異なり変化を重ねますが、自分なりの幸せを追い求める姿から間違った愛なんて無いんだと気付かされます。タイトルである「汝、星のごとく」の伏線回収には誰もが感動すること間違いなし。ぜひ読んでみてください！

ARAI (八千代)



## 『野村の「監督ミーティング」』

橋上 秀樹

71/ム

自らを追い込み、自分なりの哲学を持った人の言葉にはたいそうな重みを感じる。この本には名将野村克也の納得せざるを得ない言葉が随所に散りばめられている。そんな中から私が君達に伝えたい言葉を二つ紹介する。

一、「言い訳は進歩の敵」  
自分以外のもののせいにしても何も現状は好転しない。自分を見つめ、己を改めないかぎり自分の前の状況は変わらないのだ。

二、「限界に打ちのめされて初めて可能性や自分自身を知ることができるのだ」  
人間に技術的限界はあるが挑戦をすることで、人間に限界はない。だから自分の限界にぶつかるよう、まずはそこまで懸命の努力が必要なのだ。



M (八千代西)

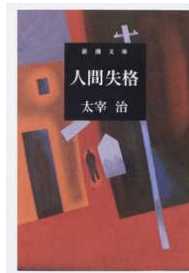
## 『人間失格』

太宰 治

69ニ

太宰治の人間失格は、自己嫌悪と孤独をテーマにした文学の名作です。主人公の不遇な生活と内面の葛藤が描かれ、現実との葛藤から彼の心理的な崩壊が浮かび上がります。人間の複雑さと善悪の曖昧さを通じて、人間のあり方を問いかける作品であり、読者に深い共感と考えさせられる体験を与えられます。

太宰の独特な文体と鋭い洞察力は、この小説を文学史における重要な一冊として位置づけています。



S (八千代西)

## 『浜村渚の計算ノート』

青柳 碧人

72ハア

「数学を用いて事件を起こすテロリストと女子中学生浜村渚が、数学で戦う」といったストーリーのミステリー寄りの小説です。かなり読みやすい小説で、「フィボナッチ数列」や「カルダノの公式」など各所に登場する数学の用語も丁寧に説明されているので、数学に興味がある、数学が好きという人はもちろん、数学が苦手な人にもおすすめです。漫画化もしているそうなので興味がある人はまずそちらから見てみてはいかがでしょうか。



F (八千代西)

## 『脳を創る読書』

酒井 邦嘉

70ノ

生成AIと人間が共生する時代になりました。「これからこの世で働き、食べていけるのか。今できることは何なのか。」そんな漠然とした不安に支配されていませんか？

脳の仕組みと脳に良いとされている読書の関連を語ってくれる本は、大々難解です。酒井氏は東京大学の先生ですが、この本は誰にでも分かり易い文章で書かれていて万人向け。本当に賢い方は説明も上手です。不安な将来に一筋の光が見える良書です。



SAITO (八千代)

## 『ビブリア古書堂の事件手帖』

三上 延

以前にも紹介させていただいたことがありますがお薦めするのは『ビブリア古書堂の事件手帖』です。古書店を営む若い女性店主である菜子さんが、古書に関する膨大な知識を基に、持ち込まれる古書にまつわる謎と秘密を解き明かしていく物語です。謎解きの面白さに加えて古書に関する知識も得られる、一粒で二度美味しい作品です。シリーズ化されていますが、特に初期の作品は一つのお話が短いのので読みやすいと思います。

KOIDE (八千代)

75ピブ



## 『ハリー・ポッターシリーズ』

J.K.ローリング

73ハ

小さな頃両親を亡くし、叔母夫婦の家で虐待同然に育てられてきた少年ハリー・ポッター。そんな彼の生活はある日送られてきた「ボグワーツ魔法魔術学校」からの手紙によって一変した。ハリーの両親やハリーは魔法使いで、ハリーは「名前を言っただけはいけないうの」こと、ヴォルデモート卿を打倒しヴォルデモート卿の死の呪文から生還した「生き残った男の子」だったのだ。ヴォルデモート卿が消えてなお、様々な思惑と共に水面下で蠢く闇の魔法使い「達。蘇ってしまったヴォルデモート卿をハリーは再び打倒することができているのか。キャラクターたちそれぞれが本の中に動いているかのよう色んな思いを持って。映画もありますが、映画でカットされた部分もあつたりするので是非小説も読んでみてください。

KUWANO (八千代)



## 『白夜行』

東野 圭吾

一九七三年、大阪の廃墟ビルで質屋を経営する男が一人殺された。容疑者は次々に浮かぶが、確実な証拠が見つからないまま事件は迷宮入りしてしまう。被害者の息子・桐原亮司と一人の容疑者の娘・西本雪穂はその後別々な人生を歩んでゆく。だが十九年間二人の周囲には様々な犯罪の形跡が。二人の関係とは何なのか？緻密な伏線を君は見抜けるか。

NAGATOMI (八千代)

76ピヤ



## 『ひとを<嫌う>ということ』

中島 義道

74ヒト

「私には嫌いな人がいます。」  
私がこのように言うとき皆さんは、「大人っぽくない」とか「先生なのに」と思ってしまうかもしれません。でも仕方ないのです。嫌いなものは嫌いなのです。  
本書は「嫌う」という行為は人間として極めて自然な行為だと述べています。皆さんも、嫌い、苦手と感じたことがある人が多いでしょう。「嫌う」「嫌われる」は人間として自然なことです。  
では、私たちは嫌いな人と相対したとき、どうすれば良いのでしょうか。また、人に嫌われたときはどうすれば良いのでしょうか。本書を読むことで、皆さんの人生が今より少し快適になるかもしれません。

T (八千代西)



## 『VISION』

三 菅 薫

高校生になると本を読まなくなってしまうというサッカーが好きな人にお勧めの本です。私はサッカーの事は全然わからないけれど、二人の息子が夢中になるサッカーを理解したいと思い、この本を手にとって一気に読みました。夢を実現するためのブレない考え方。プロサッカー選手を目指す子供たちに伝えたいこと。食事や睡眠、メンタルについて……。いろいろな内容が詰まっています。また進路に悩む人にとっても前向きになれる本だと思います。

HIMENO (八千代)



797

## 『フライパン | 本でできるお手軽フレンチ』

ダニエル・マルタン 著

コロナが終局していき、元々ホームパーティーが好きな私は久々に開催し始めました。今までとは少しテイストが違ったお料理をしたくなり、手に取った本。難しい調味料ばかりかと思われていましたが、そのようなことはなく挑戦できるものばかりでした。作れないお料理でも見た目や色どり、盛り付けを学ぶことで今後に生かせそうなものばかりです。是非、母の日や父の日、お祝い事やイベント等で三品のコース料理で食卓を囲んでみては、いかがでしょうか。ソースだけでも真似してみると楽しいと思います。



TOMITA (八千代)

## 『福家警部補の考察』

大 倉 崇 裕

シリーズ五冊目の本書は、主人公である福家警部補の活躍を描くミステリー作品であるが、刑事コロニボや古畑三郎の手法で犯人にせまる、いわゆる倒叙形式の本格ミステリーである。小柄で、一見頼りなさそうな女性である福家警部補は、じわじわと犯人を追いつめていく。文庫本におさめられている各作品は、いずれも、中短編で、そんなに時間をかけなくても読めるものばかりである。

KOBAYASHI (八千代)



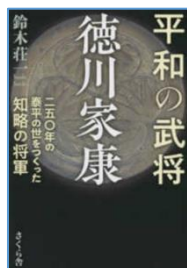
804

## 『平和の武将 徳川家康』

鈴 木 荘 一

日本史が苦手という人でも、信長、秀吉、家康の名前くらいは知っていると思います。世間ではこの三人の中で誰が一番好きかなどと比較して話題にされることがあります。この本は家康を含む歴代のリーダーたちが、外国勢力といかに対峙してきたかを描いています。つまり、どうやってこの日本国を守ってきたかという視点で書かれています。ともすると国内における権力争いの歴史についてばかり語られますが、世界の中の日本という視点で見るとまた違った歴史が見えてきます。

O (八千代西)



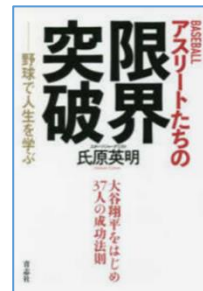
## 『BASEBALL アスリートたちの限界突破』

氏原 英明

私が沖縄にプロ野球キャンプを観に行った時に出会ったのが、この著者である氏原さんです。氏原さんとの出会いによって野球に対する見方や考え方が変わりました。

この本は、野球を通じて大谷翔平をはじめとする37人の成功法則が書かれています。彼らの成功には、人生を生き抜く光があり、ヒントがあります。彼らの言葉を私たちの日常に落とし込んでいけば、人生の成功法則が見つけ出せると思います。そんな一冊です。

N (八千代西)



83ボウ

## 『忘却のレーテ』

法条 遥

記憶消去薬の新薬「レーテ」を使った実施実験に、五人の被験者と共に参加した唯。一日ごとに毎回昨日の記憶がリセットされる。七日間に起こる様々な出来事、渦巻く不安や違和感…。

この作品は読者自身にも問いかけるような新しい展開型ミステリーです。普段本に慣れていない方でも読みやすく、惹き込まれる作品となっています。最後に明かされる真実を知ると、読み返す為にあなたは必ず、再びページを捲るようになるでしょう。



HAYASHI (八千代)

82杓

## 『豊饒の海』

三島 由紀夫

「美しさ」を追求した、三島由紀夫の遺作です。

文章の美しさはもちろんのことですが、輪廻転生を経ても変わらぬ、人間愛の美しさが心をうつ作品になっています。

人の思いは変わらず美しいものだと再確認できると思うので、ぜひ読んでみてください。

E (八千代)



84ボク

## 『ぼくらの七日間戦争』

宗田 理 著

ある日、東京下町にある中学校の一年二組の男子生徒全てが姿を消した。彼らは工場跡に解放区を作り、体面ばかり気にする大人たちに叛乱を起こした！女子生徒たちの奇想天外な大作戦に、本物の誘拐事件がからまって、大人たちは大混乱に陥るが…。

何世代にもわたって読み継がれてきた、不朽のエンターテインメントシリーズ最高傑作。



TANAKA (八千代)

## 『ボブ・ディラン全詩 302 篇』

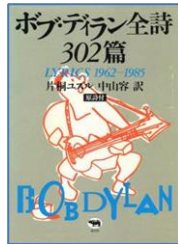
ボブ・ディラン

愛読書というのではありません。20代の後半に読んで、または聴いてとても心を動かされたという本(?)です。一定年ごとに改定されて増えていくので、もう3〜4刷くらいにはなっていると思います。まだ存命で活躍しているシンガーなので、その初期の作品、「あらしの墓標銘——篇」という長い作品の最終段に私の人生観を変えたと言っている、このような一節がありました。

「さびしいか? たしかに、でもわたしのさびしさを、むかえてくれるのは花だ。花の鏡だ。そしてわたしのさびしさは強烈だ。深くまで溶けわたしの自由の奥底にはいる。それはその時にわたしのうたとしてのこるだろう。」

この言葉がいつまでも、私の心に染みついて離れません。そういう詩集です。

○ (八千代西)



## 『星の王子さま』

サン・テグジュペリ

85 枚

地球に降り立った王子さま。見慣れないものばかりで戸惑うも、キツネや「ぼく」との友情を育む中で、「本当に大切なものは目には見えない」ということに気がきます。例えば、人との繋がりにです。私は家族や友達、多くの人と繋がりに支えられています。

皆さんはどうでしょうか。そんなことを考えさせられる本です。

TAKAHASHI (八千代)



## 『本好きの下剋上』

香月 美夜 著

88 枚

主人公、本須麗乃は、本が大好きな女子大生。図書館への就職が決まったその日、地震で落ちてきた本に埋もれて亡くなってしまいます。「もっと本が読みたかった…」と嘆く彼女が気づいたとき、なんと異世界の少女に生まれ変わっていました。しかし、その世界には本が存在しません。「本がなければ作ればいい」彼女が本を完成させるまでのドキドキとワクワクの物語。ぜひ体験してみてください!

ZYUUDA (八千代)



## 『星の王子さま』

サン・テグジュペリ

86 枚

この本は世界的にも知られている有名な本です。なぜ人々の心に響き、今も多くの人に読まれているのでしょうか?

私の心に残った言葉は「大事なものは目には見えない」「どこかに星の王子さまの星があるとすれば星をながめるのが好きになる」です。物事に対しての向き合い方や気持ちの持ち方を考えさせられます。

みなさんもぜひこの本をきっかけに、様々なことを考えてみてください。

T (八千代西)



## 『マンガみたいにすらすら読める哲学入門』

蔭山 克秀

91 マン

哲学と聞きごとのような感想を抱きま  
すか。哲学とは、世界の本質を論理的思  
考で解明すること等と言われ、深い学  
問ですが入口は身近です。なぜならば、  
哲学は思考が基盤であるからです。哲  
学者も同じ人間ですから共感できる部  
分も多いわけです。そしてこの本は、代  
ゼミの有名な講師の蔭山さんが著して  
おり、ストーリー仕立てで小ネタに笑  
いながら軽く読めます。実は受験対応も  
している一冊です。マンガ感覚で是非読  
んでみて下さい。



OKAZAKI (八千代)

## 『マスカレードホテル』

東野 圭吾

89 マ

あるホテルが連続殺人事件の新た  
な犯行現場として予告される。これを  
受け、潜入捜査を敢行するエリート刑  
事の男と、その教育係を務めることにな  
ったホテル従業員の女性。二人は互  
いに衝突を繰り返しながらも、次第に  
事件の核心へと迫っていく、というミ  
ステリー小説です。



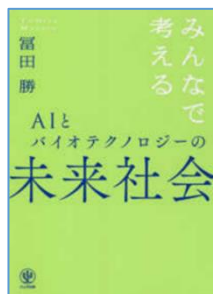
KATO (八千代)

## 『みんなで考える AI と バイオテクノロジーの未来社会』

富田 勝

92 ミ

生物と情報を教えているので、それらしい  
タイトルを選択。AIとバイオテクノロジーの  
話を扱い、最後にこの2つの話題に共通す  
る、倫理・人間らしさについての話に繋がる。  
この本で、私が興味を持ったのは次の2つ  
つの文章である。  
「倫理的に良いか悪いかは、その時代の人  
間の多数決のような考えによって決まる。」  
「他人に認められたい。社会に認められた  
いという自己承認欲求も人間が生きる本能  
ではないか」  
皆さんは、これらの内容についてどう考え  
るだろうか？



M (八千代西)

## 『また、同じ夢を見ていた』

住野 よる

90 マ

この話は一言で言うところ「幸せ」とは何かを  
探していくお話です。主人公菜ノ花は小学  
生の中ではかなり賢い女の子で、それもあ  
って学校には友達もいません。作品の中で  
色んな人たちと出会ってみんな様々な過去  
を持っていきます。その過去に触れ合っ  
て変わっていきます。  
読み進めるとわかる『また、同じ夢を見  
ていた』というタイトルの意味、悲しくな  
いに感動してしまうような作品です。「幸  
せ」という、人それぞれで答えがないものを  
この作品を読んで探してみませんか



KI I (八千代)

## 『迷走地図』

松本 清張

95頁

迷走地図は、松本清張の長編小説で、主人公で、周りの人に支えられている与党内の大派閥の領袖が、現首相から政権を譲り受けようというストーリーである。それをめぐる派閥間の争いを中心に、国会議員をはじめ、雇われ運転手、記者に至るまで、永田町に棲む人々の生態を描き、議会議事を中心に裏方の視点から、多種多様な人種が、利権・利得を求めてうごめく永田町界隈を舞台としたポリティカル・フィクションであり、後に映画化やテレビドラマ化されている。



○ (八千代西)

## 『無限の中心で』

まはら 三桃

93頁

通称、ゴン高。校舎が六角形(ヘキサゴン)をなしていることから、インフィニティ総合学園高等部は、そう呼ばれている。ホントは物語の世界に浸りたい文系少女が、変人ぞろいの数学男子たちとともに、まるで関心のない「木曜日のミステリー」に迫る!?

マスマティックな青春ストーリー。

NUMATATU(八千代)

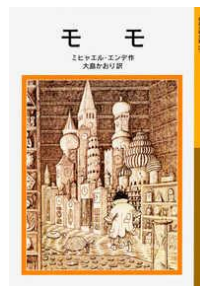


## 『モモ』

ミヒヤエル・エンデ

96頁

時間どろぼうと、盗まれた時間を取り返してくれた女の子の不思議な物語。  
「時間」がテーマのお話で、この本の面白いところは私的には2つあります。一つ目は生きる時間が秒で示されていて、時間が多く感じたり少なく感じられるところです。  
2つめはマイスター・ホラがモモに出したなぞなぞです。しっかりヒントもあるし答えも書いてあるので、答えを読まないで自力で解いてから答えを見るととても納得できるところが面白いです。  
他にも面白いところや名言、学ばれるところが多いのでおすすめです。



K・R(八千代東)

## 『むらさきスカートの女』

今村 夏子

94頁

近所に住む「むらさきスカートの女」と呼ばれる女性を観察し続ける(わたし)。彼女と友達になりたい(わたし)は、自分と同じ職場で働くよう彼女を誘導するが…不気味で得体の知れない「むらさきスカートの女」を追う物語かと思いきや、読み進めるほど語りの異常性が露呈していく、少し変わった構造の本作。

「芥川賞史上最も不気味で滑稽な作品」と称される当作品、ぞくぞくしたい人はぜひご賞味ください。

SUZUKI(八千代)





## 『容疑者Xの献身』

東野 圭吾

99 ㊦

天才数学者でありながら不遇な日々を送っていた高校教師の石神は、一人娘と暮らす隣人の靖子に秘かな想いを寄せていた。彼女たちが前夫を殺害したことを知った彼は、二人を救うため完全犯罪を企てる。だが皮肉にも、石神のかつての親友である物理学者の湯川学が、その謎に挑むことになる。

HARA (八千代)



## 『夜明けのすべて』

瀬尾 まいこ

97㊦

この本は、ある職場で働いている、月に一度のPM S(月経前症候群)でイライラが押さえられない藤沢美沙と、パニック障害で生きる氣力を失った山添君の二人が、お互いの病気を理解しながら、助け合っていく物語が書かれている。

これらの病気ではなくても、一見健康そうに見える人も、他人には言えない苦しみを抱えている人がいると思います。この本を読んで、そのような人に対しても、自分は寄り添える人間でありたいと思いました。

これから先、いろんな人との出会いがある高校生に(是非先生方にも)読んでいただきたい一冊である。

※この小説が原作となる映画が、松村北斗、上白石萌音のW主演でロードショーです。

H (八千代西)



## 『陽気なギャングが地球を回す』

伊坂 幸太郎

100 ㊦

この作品は、嘘を見抜くことのできる成瀬と演説の達人響野、スリの天才久遠、正確な体内時計を持つ雪子の四人の強盗チームが強奪したお金をめぐって繰り広げるお話です。ある日銀行強盗をして成功させて帰る途中、現金輸送車ジャックにあい、盗んだお金が取られてしまいました。お金を回収するため四人が相手を追う中、さまざまな事件が起きていきます。

SATO (八千代)



## 『容疑者Xの献身』

東野 圭吾

98 ㊦

天才数学者で高校教師の石神は、一人娘と暮らす、隣人の靖子に密かに思いを寄せていた。ある日、彼女たちが前夫を殺したと知った彼は、二人を救うため完全犯罪を企てる。しかし皮肉にも、石神のかつての親友である、物理学者の湯川学がその謎に挑むことになるが…。

この作品は、私が東野圭吾の作品の中で好きな本のうちの一つです。読んで後悔はないと思うのでぜひ読んでみてください！

SAKURAI (八千代)



## 『少女戦記』

カルロ・ゼン



徹底した合理主義者だった主人公は、ある会社員にクビであることを伝える。しかしその会社員に逆恨みされ、殺されてしまう。その瞬間神を名乗る存在が現れリアリストな主人公が信仰心を持っていないことを咎める。そして主人公との対話の末に信仰心を持たせるため、戦乱の世の中に戦争孤児として転生させる。

主人公は安泰を求め軍人として出世し、後方勤務になろうとするがその考えとは裏腹に最前線に投入されていく。

NAKAGAWA (八千代)

## 『夜のピクニック』

恩田 陸



卒業を控えた三年生の甲田貴子が主人公の小説です。舞台は、夜を徹して八十kmの距離をひたすら歩く行事「歩行祭」がある高校。貴子は最後の歩行祭に三年間、誰にも言えなかった秘密を清算するため挑みます。みんなでそれぞれ学校生活の思い出や卒業後の夢などを語りながらみんなでゴールを目指します。登場人物達の様々な思いが絡み合っていて感動すること間違いなしの一冊です。

TOYOSHIMA (八千代)

## 『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』

森田 碧飴村



この作品は余命があと一年と伝えられてから、勉強や進路のことだけでなく昔から好きだった絵を描くことにも無気力になり惰性で生きるようになります。しかしある日自分よりも余命が短い女の人と出会います。その女の方は主人公と違い絶望せず残りの寿命を楽しく生きていこうと過ごしていました。そんな対照的な二人が出会う物語です。

SATO (八千代)

## 『ラーゲリより愛を込めて』

辺見 じゅん



第二次世界大戦終了後、約六十万人の日本人がシベリアの強制収容所(ラーゲリ)に不当に抑留された。あまりにも残酷な日々にも誰かが絶望する状況下において、ただ一人、生きることへの希望を捨てなかった人物…、それが山本幡男(やまもと はたお)である。ラーゲリでの劣悪な環境により栄養失調で死に逝く者や自ら命を絶つ者、さらには日本人抑留者同士の争いも絶えない中、山本は生きることへの希望を強く唱え続け、仲間たちを励まし続けた。自身もラーゲリに身を置き、わずかな食糧で過酷な労働を強いられ、仲間が、仲間想いの行動とその力強い信念で多くの抑留者たちの心に希望の火を灯した。

TUTHIYA (八千代)

## 『レーエンデ国物語(シリーズ)』

多崎 礼子

107レ

「革命の話をしよう。…」の序章から始まる各編は、大国に囲まれたレーエンデを舞台にした物語である。

少女ユリアは『呪われた土地』レーエンデへの旅の中で、初めて自分を知り、友を得、恋を知る。しかし、時代の流れは彼女を翻弄していく。

各巻、時代が大きく流れ、登場人物も人種や身分がそれぞれ違う。しかし、どの登場人物も生き生きとして魅力的であり、読書嫌いの人もゲーム感覚で読むことができるのではないだろうか。また、戦争や人種、貧困問題など、物語の中のことであるが、より強く現代世界の歪みを感じさせられる。最終結末が楽しみな作品。



K・M(八千代東)

## 『ラブカは静かに弓を持つ』

安壇 美緒

105㍻

幼少期、チェロ教室の帰りにある事件に遭遇し、それ以来、深海の悪夢に苦しめられながら生きてきた橘。ある日、上司の塩坪から呼び出され、音楽教室への潜入調査を命じられる。その目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠をつかむこと。橘は身分を偽り、チェロ講師・浅葉のもとに通い始める。師と仲間の出会いや奏でる歓びが、橘の心を溶かしですが、法廷に立つ時間が迫り……。



AOKI(八千代)

## 『六人の嘘つきな大学生』

浅倉 秋成

108㍻

この本を読み終えた時、年輩の先生が「ヒトは多面体なんだよ。良い人と悪い人が存在するのではなく、良い面も悪い面も存在する。」と生徒に話していた事を思い出した。

物語は就職活動を行う六人の大学生を中心に展開する。当初は一つのチームとして六人は協力し合い、互いの良さを認め合う。しかし、最終選考たった一つの内定を争う場面で、六人それぞれの罪が書かれた告発文が見つかり状況は一変する。

ミステリー要素だけでなく、人の持つ様々な一面について考えさせられるのも本作の魅力である。伏線回収も非常にきれいなので、時間があるときには是非一気に読んでみて欲しい。



I(八千代西)

## 『ラブカは静かに弓を持つ』

安壇 美緒

106㍻

司書の先生から勧められ、ラブカという言葉に疑問を持ちながら読み始めました。

主人公の橘樹は、幼少期からチェロを習っていたが、ある事件がきっかけでやめることに。その後、何年も持病に悩まされるようになる。そんな彼が就職先で依頼された仕事は、音楽教室へ潜入調査すること。チェロを仕方なく再開したが、音楽を通じて様々な人と出会うことよって、充実した毎日を送る。しかし、スパイであるということは……。



N(八千代西)

## 『わたしの美しい庭』

風良 ゆう

マンションの屋上庭園にある「縁切り神社」。そこには断ち物の神様が祀られていて、悪いご縁をすべて断ち切ってくれるという。ここに住み、神社の管理をする統理と小学生の百音は血が繋がっておらず、近所からは「変わっている」と言われながらも楽しく過ごしていた。この神社には、二人のように様々な生きづらさを抱えた人たちが訪れる。自分らしく生きるため、それぞれの迷いと縁を切っていく彼らに少しの勇気をもたらえる一冊。

I T O (八千代)



## 『私が彼を殺した』

東野 圭吾

みなさんは「名探偵」という言葉を聞いて誰が思い浮かびますか。眼鏡をかけた小学生？金〇一？福山雅治さんが演じた物理学者？独特な空気感をもつ刑事？ホー〇ズ？ポ〇ロ？…たくさんいます。そして、一度は彼らより先に真相を解き明かしたと思ったことはありませんか。それができるのがこの本です。なぜならこの本は最後まで犯人が明かされません。答えを見ようにも答えが書かれていないのです。ネット検索しても出てくるのはあくまで推理した人たちの意見です。作者から犯人が誰かは語られていません。情報を整理して、何度も読み返し、自分なりの推理を試みてください。そして是非その名推理を教えてください。楽しみにしています。

O (八千代西)

